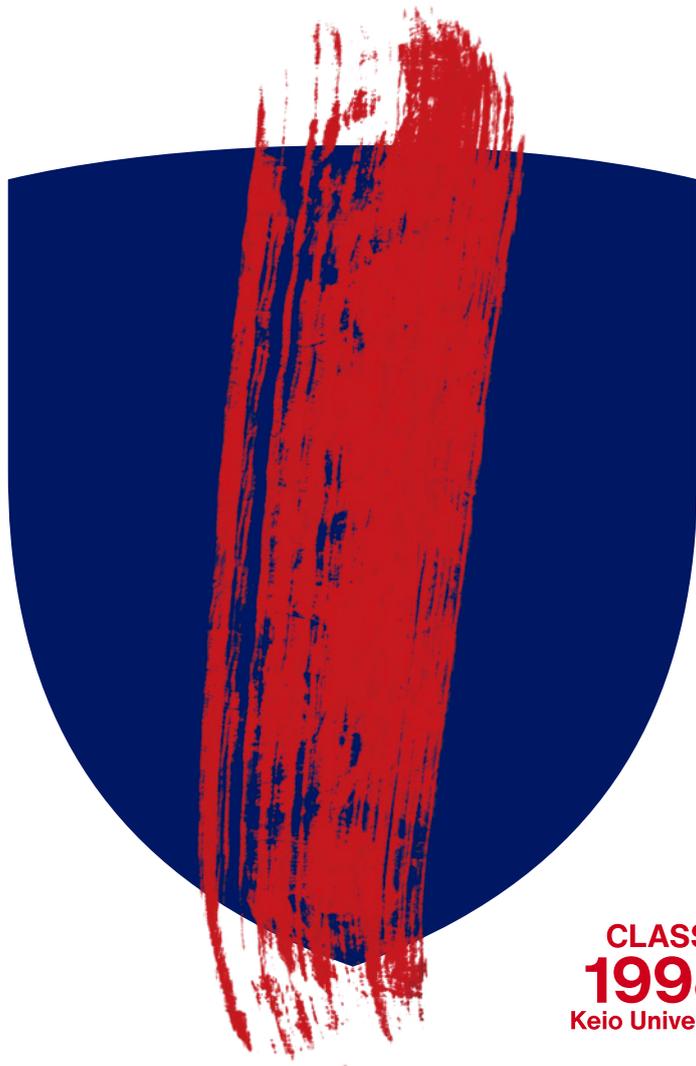


Class of 1998, Keio University - The 25th Anniversary of Graduation

卒業25年
記念事業のご案内

事業趣意書

慶應義塾1998年三田会



CLASS
1998
Keio University

あの春の日、神宮の杜で高らかに歌い上げた「若き血」。

これから始まる新たな生活に、胸をふくらませていた。

あれから25年。今日この日に集おう。

励まし讃えあい、そして刺激しあった若き日々の友と。

新しい仲間と出会い、語らおう。

25年前の日々を、今まで歩んできた道のりを、

これからの25年に描く夢を。

そして考えよう。

次世代の後輩たちの「若き血」に何ができるかを。

今日、この日からまた「若き血」が巡りだす。

**あなたの中に、
まだ若き血は流れていますか？**

Class of 1998, Keio University - The 25th Anniversary of Graduation



1998年卒業のみなさまへ

1998年三田会の皆様が卒業25年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。この節目にあたり、記念事業として「1998年三田会記念大学奨学金」の創設および「慶應義塾教育充実資金」の充実に向けた募金活動を進めてくださっていることに、慶應義塾を代表しまして心より御礼申し上げます。

創設いただきます奨学金は、塾生の経済的な支援だけでなく、先輩の塾員が後輩の塾生を思う心がこもったものであり、学問を志すうえで大きな励みになるものです。また、「慶應義塾教育充実資金」は全社会を先導する人材を育成するための豊かな教育活動と、それを生み出す基盤である研究活動の一層の充実を目的として設置されたもので、多くの塾員の方にご支援いただいています。慶應義塾は創立以来、学問を修め、経済的に自立し、流行に惑わされずに、世の中の進むべき方向を考えることのできる独立自尊の人材を社会のあらゆる分野に送り出してきました。いずれのご支援につきましても、ご芳志に報いるよう努めてまいりたいと考えております。

グローバル化の中で、義塾は研究力の向上、国際化の

推進を中心に、これまでの伝統を守りつつ、さらなる進化をめざしています。また、多様な学びによって多様な人材を育てるという使命も変わることはありません。優れた教育は優れた研究に支えられてこそ可能であり、優れた研究には優れた人材が必要です。

昨年塾長に就任してからのこれまでの間、新型コロナウイルス感染症から塾生のキャンパスライフを取り戻すため、全キャンパスにおける授業・研究・課外活動の活性化に奔走してまいりました。ポストコロナの新しいキャンパスライフを作り出すことにより「慶應義塾大学を選んで本当によかった」と感じてもらい、生涯の友情を育んでももらいたいと願っています。

卒業25年を迎えた皆様も記念事業を通じて、学生時代からの旧交をさらに温め、義塾社中の絆を深められることを願っております。

慶應義塾が新たな飛躍を遂げるために皆様のご理解とご支援をお願いしますとともに、皆様のご健勝と一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

慶應義塾長 伊藤公平

あなたの中に、まだ若き血は流れていますか？

1998年に慶應義塾を卒業した我々は卒業して25年が経とうとしています。この25年の間、皆さんはどのような人生を歩まれましたか？

人生の折り返し地点にいる我々は卒業25年を迎え、2023年3月の慶應義塾大学卒業式に招待されます。この25年に1度の貴重な機会に1998年三田会卒業25年記念事業として「大同窓会の開催」「記念寄付金の募金活動」「塾員名簿の整備」を行うことといたしました。

記念寄付金のうち、奨学金は我々の代の冠のついた「1998年三田会記念大学奨学金」として授業料に充当されます。1人でも多くの後輩たちが我々と同じように「若き血」を歌い、そして我々自身も今年1年の活動を通して「若き血」への情熱を思い起こすことが記念事業のゴールです。

その思いから、スローガンを「あなたの中に、まだ若き血は流れていますか？」といたしました。

神宮で応援をした側にとってもされた側にとってもあの25年前を語り合い、そしてこれからの25年を豊かにできればと願っています。「若き血」は我々塾員にとって唯一無二の共通言語です。コロナ禍でなかなか歌えない時期が続きましたが、2023年3月の大同窓会で一緒に「若き血」を歌いましょう！

慶應義塾1998年三田会
卒業25年記念事業 実行委員会

実行委員長 浦 貴行

実行副委員長 高橋由伸

実行副委員長 廣瀬純平



卒業25年記念事業とは？

慶應義塾には、卒業後25年経った塾員を卒業式に招待するという1953年から続く大切な伝統行事があります。後輩たちの門出を祝福するだけでなく、社中の輪を広げ、絆を深めるというのがその目的です。1998年に卒業した我々は2023年に卒業25周年を迎え、2023年3月23日の卒業式に招待されます。この記念すべき日を中心に我々1998年三田会は3つの記念事業を行います。

1

大同窓会の開催

2023年3月18日(土)

ザ・プリンス パークタワー東京

旧交を温め、さらに新たな出会いが生まれます!!

2

記念寄付金の募金活動

次の世代へ「若き血」をつなげよう!!

3

塾員名簿の整備

まずは、ご自身の情報の登録をお願いします!

2022年は同期と再会し、名簿情報登録を促進してもらうとともに、
大同窓会への参加をどんどん呼び掛けていく年です!
多くの仲間と「若き血」を2023年3月18日に歌えることを期待しています。

大同窓会について

2023年3月18日(土)は、大同窓会の日。
皆で集い、飲み、食べ、笑い、若き血を巡らそう!!

1998年三田会大同窓会

日時

2023年3月18日(土)
16:00-19:00

場所

ザ・プリンス パークタワー東京

東京都港区芝公園4-8-1

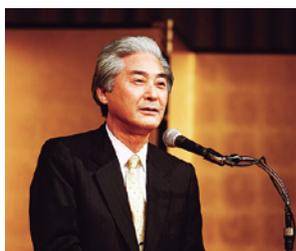
私たち1998年三田会会員は、ザ・プリンス パークタワー東京に集い、卒業25年を祝う大同窓会を1,000人規模(予定)で開催いたします。

当日は、日頃顔を合わせている親しい友人はもとより、SNS上でのやり取りに終始している人や、卒業してから音信不通の人と再会できるチャンスというだけでなく、この大同窓会をきっかけに素晴らしい同級生との出会いがあるかもしれません。

是非とも今からスケジュールを調整して、ご予約頂きますと幸いです。

正式なご案内については、追って皆様へご連絡致します。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況次第では、開催自体の取りやめ、縮小する可能性もあります。
ホームページやSNSにて情報発信を都度いたしますので、予めご了承ください。



2

記念寄付金の募金活動 (慶應義塾への寄付)

あなたの寄付が次世代の学びを支えます

今回お願いする寄付は奨学金や学習環境整備の資金として活用されます。

用途

1

給付型の奨学金資金

『記念大学奨学金』として

例年の年度三田会記念奨学金では、1人あたり50万円の奨学金が給付されています。

用途

2

『教育充実資金』として

教育環境の支援を目的に、過去には教室環境の整備、電子ジャーナルの提供およびオンラインと対面の授業の併用実現のために活用されました。伊藤塾長を中心とした関係者で使い道を検討、決定します。

寄付詳細は本冊子9ページ、または1998年三田会ホームページをご確認ください。

寄付のお申し込みはこちらから



1998年三田会寄付申込ページ

<https://fundexapp.jp/98mitakai/entry.php>

先着
700名様
プレゼント

個人で3万円以上ご寄付いただいた先着700名の方に、PARKER製オリジナルボールペンを御礼として差し上げます。

※お渡し方法などの詳細は1998年三田会ホームページをご覧ください。



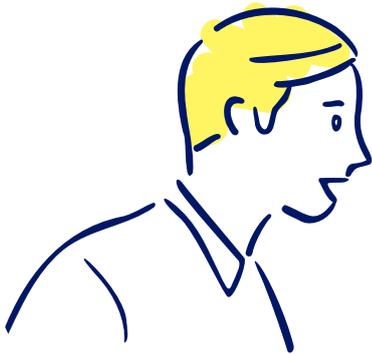
奨学金対象者

Aさん

大学3年生・商学部

Q.慶應義塾を志した理由は？

まず慶應大学の社中協力の文化が理由の1つです。コロナ禍で横のつながりが薄い状況ですが奨学金を通して三田会という縦の強いつながりを実感しています。理由の2つめは主體的に考える、独立自尊の考え方です。大学に入り様々な価値観に触れながら、主体性を醸成していきたいと思います。

**Q.どのような学校生活を送っていますか？**

この2年間はオンライン授業が多く、課題や試験は自宅で行うという生活を送ってきました。また、一部の授業やサークル活動のためにキャンパスに通う場合においても大変制限のある学校生活でした。そのような環境ではありましたが、受講した倫理学の授業で扱った社会問題に関心を持ち、学外でのプログラムに参加して成果をあげることができ、また公認の国際系団体に所属して、海外メンバーや企業との交渉を行うなど、主体性をもって動くことで有意義な2年間を過ごす事ができたと感じています。

Q.奨学金を受けたきっかけについて教えてください。

母と妹との3人家族ですが、医療従事者の母の収入が減り、私も塾講師のアルバイトの生徒数が激減し収入が減ったことで、家計が厳しい状況に置かれました。また、同時期に妹の受験が重なって家計に余裕のない状況でしたが、大学での学びを諦めたくなく、奨学金の申請をした結果、奨学金のご支援をいただけることになり大学を続けることができております。

Q.奨学金を受けるにあたり、その条件について何かアイデアがあれば教えてください。

条件ではありませんが、授賞式で感じたことをお伝えすると、**コロナ禍的环境下でも三田会の方々とのオンライン交流の場があり**そこで激励の言葉をたくさんいただきました。そのような交流の場が奨学金の重みを感じることにつながり、また卒業生の方々との対面できることが今後の励みになったように感じました。

Q.あなたにとって、「若き血」とは何でしょうか？

コロナ禍において、慶應の応援歌である若き血を実際に歌った経験は少ないですが、慶應の学生のアイデンティティを表すものと認識しています。社会人になった後にはきっと大学生活を思いだし、励みになる曲になっていくのだらうと思います。慶應内部生の友人がおり、若き血が応援歌だと教えてもらいました。

Q.寄付した三田会、またはこれから寄付を検討している三田会にメッセージをお願いします。

私は、将来国内外問わず恵まれない人々に向けて支援や貢献活動をしていきたいと思っています。それは、自らの境遇から共感できることが多く、その夢を実現するための糸口として現在関連する大学の講義やその他サークル活動においていろいろな経験を主體的に取り、様々な学びを得ることができています。現在、大学生活で得た学びがあるからこそ将来の目標を描くことができており、これは三田会の奨学金のご支援のおかげであり、大変感謝しています。私はこの中で成長できた体験から、コロナ禍のような環境下でも主體的に行動すれば成長できるという自信を持つことができました。コロナ禍で私のような状況下におかれている学生も多いと思います。今後も1人でも多く夢を実現できるよう三田会の方々からのご支援をいただけますようよろしくお願いします。今後も奨学金の制度を続けてほしいと奨学生として強く感じています。

Scholarship student Interview

奨学金対象者

Bさん

大学4年生・看護医療学部

Q.慶應義塾を志した理由は？

以前祖父が入院した際に看護師の方の声かけの仕方で祖父が元気になったり、医療制度について丁寧にアドバイスをしてくれたりする様子にふれ、看護医療学部を目指して受験をしました。そしていくつかの大学に合格したうち、慶應義塾が総合大学であること、オープンキャンパス訪問時に色々な学部の人に関われることを知り、公立と迷ったが慶應義塾を選びました。看護医療学部卒業後に看護師以外の道があるのが慶應の特徴で、一般企業に就職する人も多いようです。

Q.どのような学校生活を送っていますか？

看護医療学部は主にSFCと信濃町のキャンパスで、実習と座学などで構成されたカリキュラムとなっています。座学はこの2年間はオンラインが中心でした。また2、3年生時の秋学期、4年生時の春学期に実習があり、信濃町での病院実習や外部施設での実習に取り組みます。新型コロナの流行により実習期間にはアルバイトや課外活動ができないので、実習期間外にアルバイトやサークル活動を頑張っています。

Q.奨学金を受けたきっかけについて教えてください。

母子家庭で母親の仕事で生計を立てており、家計の負担を減らすために奨学金制度に申し込みました。受験時に合格していた大学には学費の少ない公立や学費免除される私立も含まれていましたが、母がとても推していた、卒業生の支援が期待できる慶應義塾を選びました。

Q.奨学金を受けるにあたり、その条件について何かアイデアがあれば教えてください。

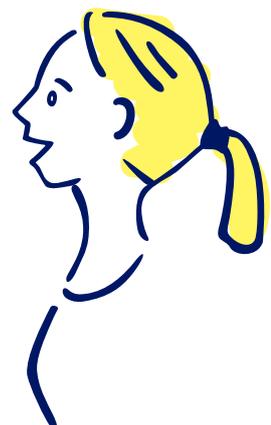
看護医療学部は2年生から毎年長期間の実習に取り組みます。**コロナ禍での新ルールで実習期間のアルバイトが禁止になったことで生活費や学費に困っている学生も多く、彼ら彼女らが受給しやすい条件も設定していただけたら**と思います。事前希望者しかガイダンスを受けられないシステムで、奨学金のガイダンスがあったことも知らなかったという友人もいました。情報の発信については、塾生サイトを確認する習慣はあまり浸透していない状況をふまえて、塾生サイト以外の場での情報提供も検討していただけたらと思います。

Q.あなたにとって、「若き血」とは何でしょうか？

必修の『慶應義塾入門』という山内慶太教授が担当する授業で「若き血」に初めて触れました。1年生で参加した早慶戦で聞き、一体感の生まれる曲だと感じました。

Q.寄付した三田会、またはこれから寄付を検討している三田会にメッセージをお願いします。

私はこれまで2年間三田会から奨学金を得、**経済悪化の社会情勢の中でも勉学に取り組みしており、とても恵まれた環境にいることに感謝しています。**卒業後まずは大学病院に入り、その後、大学院で専門性を高めて臨床に戻ることや、保健師として地域や企業の健康サポートに取り組むことを考えています。今、私のように奨学金を必要とする学生、そして奨学金制度を知らずに勉学を諦める学生が身の回りに多く、**今検討いただいている寄付が学生にとって力になることを是非知っていただきたいです。**



用途

① 1998年三田会記念大学奨学金

人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な学生を支援する給付型の奨学金です。

② 慶應義塾教育充実資金

「慶應義塾教育充実資金」へのご寄付は、慶應義塾における教育の重点事業を積極的に展開し、未来の先導者として活躍できる人材を育成するために活用させていただきます。

募集対象

1998年三田会会員およびアイデンティティ会員

ただし、公職選挙法等の法令により寄付が禁止されている方は、寄付募集の対象外とさせていただきます。

募金単位

● 個人名義・・・1口 10,000円

(できましたら3口以上のご協力をお願い致します)

● 法人名義・・・1口 50,000円

(できましたら2口以上のご協力をお願い致します)

募金目標額

2,000万円以上

募金期間

2022年6月1日～2023年3月31日

寄付方法

① クレジットカード決済での払込み

ご利用いただけるクレジットカード

- ①VISA ②MasterCard ③JCB
④AmericanExpress ⑤DinersClub

下記の1998年三田会寄付申込ページから「クレジットカード決済」を選択し、お手続きください。申込・決済が終わりますと、申込・決済完了メールがご登録いただいたメールアドレス宛に送信されます。

1998年三田会寄付申込ページ

<https://fundexapp.jp/98mitakai/entry.php>

*1998年三田会のホームページ内の「寄付活動へのお願い」からもアクセス可能です



② 銀行振込

下記の1998年三田会寄付申込ページから「銀行振込」を選択し、申し込みください。

1998年三田会寄付申込ページ

<https://fundexapp.jp/98mitakai/entry.php>

*1998年三田会のホームページ内の「寄付活動へのお願い」からもアクセス可能です



申込が終わりますと、申込完了メールがご登録いただいたメールアドレス宛に送信されます。申込完了メール記載の確認番号を、払込人欄のご氏名の前に記入した上で、下記指定口座にお振込みください。

銀行・支店 : 三菱UFJ銀行 新丸の内支店(店番422)
口座番号 : 普通預金4907231
口座名義 : 1998年三田会 会計 小田 和哉
センキョウキョウジヨウハチネンミタイ カ 加キ

ご芳名掲載

『三田評論』誌上や1998年三田会webサイトに後日ご寄付いただいた皆様のご芳名が掲載されます。掲載を希望されない方は、申込システム上で「掲載不可」をご選択ください。

領収証の発行と寄付金控除

皆さまのご寄付は、1998年三田会から学校法人慶應義塾に全額を送金し、学校法人慶應義塾の管理の下で使用されます。慶應義塾に対するご寄付は、特定公益増進法人に対する寄付金として、確定申告をすることにより税法上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます。確定申告をする際に必要な領収証と証明書(写)は、後日に慶應義塾から郵送されますので、確定申告の際にご利用ください。2022年11月15日までにクレジット決済・銀行振込いただいたものは、2022年分の寄付金控除にご利用になれます。2022年11月16日以降にクレジット決済・銀行振込いただいたものは、2023年分の寄付金控除にご利用になれます。なお、銀行窓口での振込依頼書の控え、ATM等の振込票等を大切に保管しておいてください。

※寄付金控除の詳細については、慶應義塾基金室のホームページをご覧ください。

<https://kikin.keio.ac.jp/menzei/>

法人名義でのお振込み

法人名義にてお振込みをされる場合は、「1998年三田会卒業25年記念事業寄付委員会」(kifu@1998mitakai.jp)にメールにて連絡をお願いいたします。

ご不明な点、書類送付先のご相談等は「1998年三田会卒業25年記念事業寄付委員会」までお問合せください。

本事業寄付委員会メールアドレス:kifu@1998mitakai.jp

寄付に関するお問い合わせはこちら

<https://fundexapp.jp/98mitakai/askEntry.php>



塾員名簿の整備

卒業25年大同窓会と、慶應義塾からの卒業式・塾員招待会の案内を確実に1998年三田会同期全員にお届けすることを目標に、慶應義塾から提供された名簿データの整備を行います。

卒業から長い期間が経ち、塾生時代の住所から変わられている方が、多数いらっしゃると思います。データの更新は1998年三田会ホームページで受け付けていますので、以下のURLへアクセスし最新情報の登録をお願い致します。整備されたデータは慶應義塾に戻され、今後の三田会の活動に役立てられることになります。

塾員名簿の登録はこちらから

<https://fundexapp.jp/98mitakai/mypageEntry.php>



まずは、ご自身の情報の登録をお願いします！

名簿に関するご質問、ご不明な点などありましたら、以下にご連絡ください。

本事業名簿委員会メールアドレス: meibo@1998mitakai.jp



1998年三田会ホームページ

www.1998mitakai.jp



卒業25年記念事業のご案内 事業趣意書

発行：1998年三田会卒業25年事業実行委員会

発行日：2022年6月

委員会幹事 ▶ (実行委員長) 浦 貴行 (実行副委員長) 高橋由伸、廣瀬純平 (事務局) 高澤宏司、川崎龍一、奥 国範、小田和哉、佐野尚太、北澤淳子、三浦啓子、古河直一 (イベント名簿委員会) 奥 国範、高野次郎、三神有佳、山岸祐介、福島大輔、川崎龍一、保科正宣、西山裕之 (寄付委員会) 廣瀬純平、高澤宏司、三浦啓子、小出俊輔、森若 敬 (広報・コンテンツ委員会) 北澤淳子、佐野尚太 (財務委員会) 小田和哉、山田克宏
学部幹事 ▶ (文学部) 堀田晶子、三神有佳、西村恵子 (経済学部) 久保田正崇、山岸祐介、山田克宏、小出俊輔、滝口由起、末廣美紀 (法学部法律) 元榮太郎、山本一之進 (法学部政治) 福島大輔、浦美和子、森若 敬、山縣晶子 (商学部) 藤田智幸、佐熊大祐、津村健二郎 (理工学部) 漆原利親、西山裕之、山崎喜史、是永基樹、中筋麻貴、田中健介、大宮伸巧、小山内 靖 (医学部) 山上 淳、平尾薫丸 (総合政策学部/環境情報学部) 梅原由美子、本間慎二郎、向川啓太、余語美緒 (看護短期大学) 林 美貴子、宗像かほり、浅海千晶 (アイデンティティ) 保科正宣 (体育会) 小田和哉、細井良太郎、小出俊輔、北澤淳子、山岸祐介、根岸 弘、井田貴久 デザイン協力: 福井直信 (SMITH)

運営スタッフ積極募集 お手伝いしてくださる方々を絶賛募集中です! 1998年三田会ホームページから連絡ください。

若き血、
流れてる？

1998年三田会ホームページ

www.1998mitakai.jp

